



## 「学修」・「学生生活」・「就職」など、個別に情報交換ができる教育懇談会にぜひご参加を



会員の皆様には、平素より教育後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

教育後援会は、大学に在籍されているご子息・ご息女のご父母・保護者の皆様を会員とし、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄

るご子息・ご息女のご父母・保護者の皆様を会員とし、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄

るご子息・ご息女のご父母・保護者の皆様を会員とし、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、自然災害時の緊急支援や家計急変時の奨学金給付などがあります。

その中でも特に教育懇談会は、皆様と大学との情報交換の貴重な場である、「学修」・「学生生活」・「就職」な

教育後援会会長 箕輪 希予志

去る6月7日に開催されました総会におきまして、昨年度に引き続き会長を仰せつかりました箕輪希予志と申します。

どうか会員の皆様におかれましては、深いご理解をいただき、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

どうか会員の皆様におかれましては、深いご理解をいただき、引き続きご支援をしていただきたいと考えております。変わらず学生たちを取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、次世代を担う学生の皆さんが、立派に社会へ羽ばたき、強く生きていかれることを願い、当教育後援会としてできる限りの支援をしていただきたいと考えております。

日々ぐるしく変化する時代の中、相

ど心配なこと、不安なことを個別に大学職員と懇談できる有意義な機会でありますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたくお待ちしております。

## 「人の幸せを願う」若者に きめ細かい教育指導を目指します

関西福祉科学大学 学 長 八田 武志



を勤めていましたが、教学活動に一層責任があることを自覚して職務に邁進する所存です。

これまで、日本の大学教育を大きく左右する平成23年の中央教育審議会答申「キャリア教育のあり方について」、24年の答申「日本の未来を築く、大学教育の質的転換」の2つの答申に、前学長からは、「実際に、真摯に取り組む」というように指示され、対応する教学システムの構築を進めてきました。今年の3

保護者の皆様には日頃から教学支援に多大のご理解をいただき厚くお礼申上げます。本年4月から前江端源治学長の後をうけて、学長を拝命しました。宜しくお願ひ致します。これまで教務部長、副学長、教育開発支援センター長

を勤めていましたが、教学活動に一層責任があることを自覚して職務に邁進する所存です。

これまで、日本の大学教育を大きく左右する平成23年の中央教育審議会答申「キャリア教育のあり方について」、24年の答申「日本の未来を築く、大学教育の質的転換」の2つの答申に、前学長からは、「実際に、真摯に取り組む」というように指示され、対応する教学システムの構築を進めてきました。今年の3

月に、「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の公募があり、大規模な設備整備事業の進捗状況の調査に基づく評価が行われました。上位校には特別に補助金が交付されるという予算措置です。本学は100点満点で92点の評価でした。これは約590校ある私立大学で上位45以内に入れる順位です。おかげで、特別予算を獲得でき、設備充実に充当できました。直ちに、教育の質的改善に取り組んでいます。実直に教育の質的改善に取り組んでいる資料としてご報

告致します。

また、就職や国家資格試験の合格率の向上にも教員それぞれが真剣に取り組んでいます。平成25年度卒業生の就職率は97・1%でした。社会福祉士合格者数は88名で全国227校中7位、管理栄養士合格率は94・3%などと全国平均を上回る成果を上げたことも併せてご報告します。

本学は、教育後援会の皆様のご支援を得て、規模は小さくても「人の幸せを願う」若者に確かな未来を実現してもらおうきめ細かい教育指導を目指します。

保護者の皆様におかれましても、教員と共に、自らの確かな未来を引き寄せるための努力を惜しまない様、ご子息・ご息女を激励しつづけていたければ幸いです。

## 平成26年度 総会

平成26年6月7日(土) 大学4号館1階大講義室に於いて、平成26年度関西福祉科学大学教育後援会総会が開催されました。

- ① 平成25年度事業報告案および決算報告書案
- ② 平成26年度役員人事案
- ③ 平成26年度事業計画案および予算案

以上の審議事項はすべて承認されました。すでに会員の皆様には、「報告書」として発送しておりますのでご確認ください。

また、当日の総会に引き続き、第二部では、各学科に分かれての学科セミナーを開催しました。第三部では、教職員と会員の皆様との懇親会を開催し、第四部では、担当教職員と会員の皆様との個別面談会を行いました。およそ100名の方に参加いただき、充実した内容の総会となりました。



## 平成25年度 事業報告

### 1. 学生の学業および課外活動への助成

- (1) 奨賞事業
- (2) 学業優秀者表彰
- (3) 社会貢献活動表彰等

- (1) 奨賞事業
- (2) 学術文化・スポーツ活動奨励賞
- (3) 学術文化・スポーツ活動奨励賞等

- (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
- (3) 学友会活動の助成・支援事業
- (4) 図書館事業に係る助成
- (5) 海外研修制度の助成

### 2. 学生の進路指導への助成

- (1) 資格取得に向けた学習活動への助成
- (2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業
- (3) 就職活動に係る支援事業

### 2. 学生の進路指導への助成

- (1) 資格取得に向けた学習活動への助成
- (2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業
- (3) 就職活動に係る支援事業

### 3. 学生の福利厚生を支援するための事業

- (1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成
- (2) 学生総合保険の内容充実支援
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

### 3. 学生の福利厚生を支援するための事業

- (1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成
- (2) 学生総合保険の内容充実支援
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

### 4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

- (1) 家計急変による生活困窮学生への奨学生制度
- (2) 災害救助法適用地域の学生支援制度

### 4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

- (1) 家計急変による生活困窮学生への奨学生制度
- (2) 学生総合保険の内容充実支援
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

### 5. 本学と会員相互の連携を図る事業

- (1) 教育後援会総会の開催
- (2) 教育懇談会の開催(大学と共に) 本学および地方開催
- (3) 教育後援会広報誌の発行
- (4) ホームページの内容充実

### 5. 本学と会員相互の連携を図る事業

- (1) 教育後援会総会の開催
- (2) 教育懇談会の開催(大学と共に) 本学および地方開催
- (3) 教育後援会広報誌の発行
- (4) ホームページの内容充実

### 6. その他本会が必要と認めた事業

- (1) 地域社会連携事業への支援および助成
- (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
- (3) 同窓会との相互連携に係る事業

## 平成26年度 事業計画

### 1. 学生の学業および課外活動への助成

- (1) 奨賞事業
- (2) 学業優秀者表彰
- (3) 社会貢献活動等

- (1) 奖賞事業
- (2) 学術文化・スポーツ活動奨励賞
- (3) 学術文化・スポーツ活動奨励賞等

- (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
- (3) 学友会活動の助成・支援事業
- (4) 図書館事業に係る助成
- (5) 海外研修制度の助成

- (1) 地域社会連携事業への支援および助成
- (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
- (3) 同窓会との相互連携に係る事業



第6次派遣メンバー(宮城)



第6次派遣メンバー(岩手)

## 社会福祉学科

## ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト

## 第6次派遣報告

9月2日(火)～6日(土)の5日間、2チーム(学生11名、教職員4名)で岩手県と宮城県を訪問しました。現地では、震災後に活躍しているソーシャルワーカー(4名)にインタビューを行い、専門職としての取り組みをうかがうとともに、その時々における思いに触れることができました。また、インタビュー後には、プロジェクトに参加した他大学の学生と意見交換を行い、学びを深めることができました。震災から3年半、

被災された地域では、新たな生活課題も生じており、生活支援を専門とする社会福祉士の役割が益々求められています。プロジェクトでは、今後、様々な場を通じて、現地でのソーシャルワーカーの取り組みを報告する活動を行っていく予定です。



“ほっとステーション”での実習

“ほっとステーション”での実習  
です。すいとくに、生え、「支  
援」の真  
意について  
て自ら考  
え、体得  
する好機  
となつて  
いるよう

## 臨床心理学科

柏原市子育てひろば  
での活動“ほっとステーション”  
での活動

臨床心理学科では、実習授業の集大成として柏原市の子育て広場“ほっとステーション”で5回にわたり実習を行います。ひろばの利用者である地域の保護者やお子さんとかかわりながら、乳幼児の発達を観察し、遊び相手になり、保護者ともコミュニケーションをとります。昨今、大学生になるまで赤ちゃんを抱っこしたことがないという学生も多く、お母さん方に指導してもらひながら首の座らない赤ちゃんを抱かせてもらう体験は、机上では学べず、どの学生にとっても貴重な体験になるようです。また自分が将来、親になる姿を思い浮かべる学生もあり、人を慈しむ心が芽生え、「支

本学臨床心理学科では、保育士養成課程を設けて4年目になりました。本学科にはもともと子育て支援や発達支援が専門の教員がいましたので、その領域得意とする保育士を養成するという看板を掲げたところ、家庭での子育て困難の時代を反映してか、保育園関係者からの期待も大きいことがわかり、教員一同、身を引き締めている思いです。

しかしながら、世の中は幼保連携型の認定こども園に移行が進み始め、本学でも保育と幼児教育を併せて担当する「保育教諭」を養成する課程に、もうすぐ様変わりすることになりそうです。そうなると子育て支援や子どもの発達支援のための教育まで行き届きません。専門の細分化が進むのです。スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーすら各校に十分まだ配置が進まないですが、こども園にも心理士がきちんと配置されるようになることをわれわれは行政に訴えていかねばならないと考えているところです。



## 臨床心理学科

保育士養成  
課程の現在

健康科学科では、8年間で210名以上が公立学校の養護教諭として正式採用されています。毎年、8月に教員採用試験対策委員会を中心に、現役在籍学生、既卒者の教員採用試験1次合格者を対象に2次試験合格対策講座を開催しています。オープンキャンパスに参加された高校生や保護者に、学生さんたちの試験に挑む姿を見学してもらいました。今年は、4月に、短大6号館1階に主体的に学びたい学生のための施設であるラーニング・コモンズ（ラ・かむ・おん）が開設されました。こういった設備の整った環境で、学生が相互に面接練習を行いながら、採用試験に備える姿を目の当たりにした高校生からは、「養護教諭になるという夢をかなえるために、皆が一丸となつて面接練習に励む姿に魅力を感じました」といった声が寄せられました。今後も、教職員と学生が一丸となり、「養護教諭になりたい」学生の個々の想いを実現できるように支援していきたいと思います。



教員採用試験2次対策講座：面接練習の様子



## オープンキャンパス 教員採用2次試験 対策講座

健康科学科

福祉栄養学科では、去る平成26年2月22日に第4回栄養士・管理栄養士会を開催いたしました。卒業生、在学生、教職員あわせて108名の参加のもと、大変盛況な会となりました。総会では、江端学長（当時）のご挨拶に統いて、本会を開催するに際して、西福祉科学大学同窓会・福祉栄養学科部会と名称変更するとともに、「栄養士・管理栄養士研究会」を立ち上げることが審議、了承されました。シンポジウムでは、「各業界における福祉栄養学科卒業生の現状」と題し、4期生がシンポジストを務め、活発な討論がなされました。学科発展や後輩の就職選択にも大いに参考になったことと存じます。交流会では、先輩、後輩、教職員の垣根を越えて友好を深めることが出来ました。今後もこの会が大きく発展・飛躍できることを願ております。



栄養士・管理栄養士会にご参加いただいた皆様

## 第4回栄養士・管理栄養士会開催

福祉栄養学科



言語訓練



嚥下機能評価

来年度、保健医療学部に「言語聴覚士（S.T.）」を養成する言語聴覚学専攻が開設されます。S.T.は、話す、聞く、食べる（飲み込む）、考える…これら の機能を病気（主に脳卒中や神経筋疾患）や事故で失った方々にリハビリテーションを行い、機能回復や社会的自立を支援する国家資格です。高齢社会を背景として非常に高い需要がある職種ですが、S.T.国家資格保持者はまだまだ不足しています。高度な臨床能力と豊かな人間性、加えて、チーム医療に

関わるさまざまなプロフェッショナルを養成すること玉手山学園の利点を活かし、他職種への深い理解と協働する力を兼ね備えたS.T.を養成いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 来年度、言語聴覚学専攻を開設します

### リハビリテーション学科



受賞者（石川祥子さん、田中結子さん、高谷まどかさん、川上萌さん）



特別賞受賞作品

イズミヤ株式会社、大阪府等が主催する第13回愛情お弁当コンテストにて、福祉栄養学科2年生4名のグループ（チーム名：とりさんチーム）が考案した「ヘルシーでカラフル！」とりさん弁当」が、応募数478通の中から一次審査を通過し（上位11作品）、統いて行われたおおさか教育フェスタ2014会場内（大丸心斎橋店で実施）の人気投票にて、見事特別賞を受賞しました。

このお弁当は、エネルギーの低い鶏肉を使い、働く女性に食べてほしいヘルシーな弁当をコンセプトに考案しました。表彰式では、審査員の先生から、「働く女性も、そうでない女性も食べたくなる弁当で、ヘルシーで彩りも良く、果物を取り入れているところが気に入りました！」と評価をいただきました。

## 愛情お弁当コンテストで特別賞をいただきました！

### 福祉栄養学科

# 平成25年度 就職状況について

平成25年度卒業生の就職状況につきましてご報告いたします。

大学全体での就職率(就職希望者に占める就職者の割合)は97.1%と、例年同様、全国の大学就職率(94.4%※1)を大きく上回る高い就職率となりました。

学科別では、社会福祉学科97.6%、臨床心理学科91.7%、健康科学科96.6%、福祉栄養学科100%となっております。平成25年度も多くの卒業生が、学科での学びを活かすことのできる就職先に就くことができました。

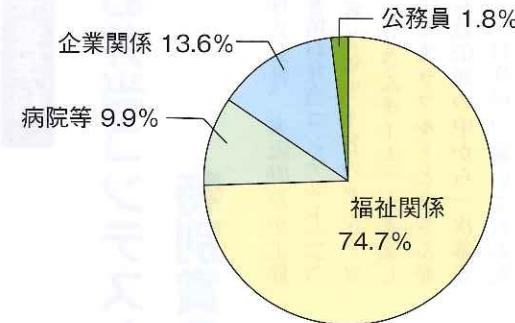
また、卒業生全体に占める就職者の割合は、大学の全国平均が67.5%(※1)なのに対し本学では83.3%と、15.8ポイントも上回っており、本学の就職力の強さが表れる結果となっています。

※1 厚生労働省政府統計(平成26年5月16日)より

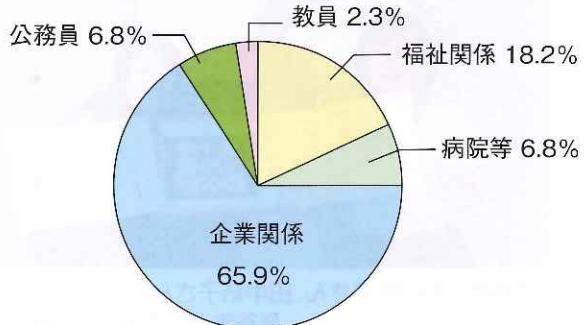
	大学全体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科
卒業者数	401	187	75	61	78
就職希望者数	344	166	48	58	72
就職者数	334	162	44	56	72
就職率	97.1%	97.6%	91.7%	96.6%	100%
進学者数	18	4	10	1	3

## 就職決定者の業種内訳

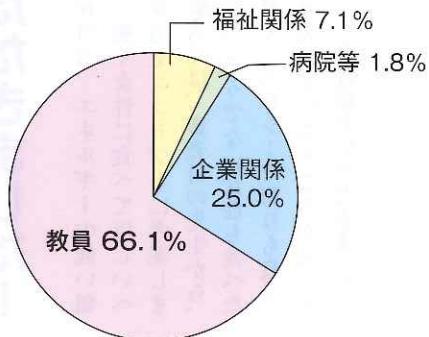
### 社会福祉学科



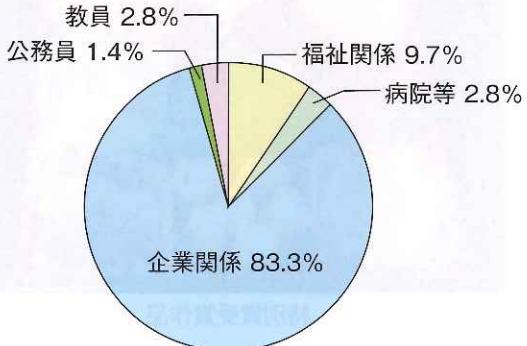
### 臨床心理学科



### 健康科学科



### 福祉栄養学科



## オープンキャンパスに向けた 「顔スタッフ」の研修



顔スタッフ研修の様子

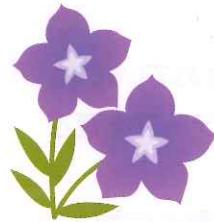
入試広報部では、年間を通じてオープンキャンパスで活躍する大学・短大の「顔スタッフ」に登録されている学生のみなさんを対象にした研修を全3回のシリーズで実施しています。

「顔スタッフ」の研修は、「オープンキャンパスでの経験を通じて、社会人基礎力」を身につけよう!をテーマに、基本的なマナーや服装の注意点、コミュニケーションの基礎や主体性を持つて行動する考え方などを身につけることを目的に実施しています。

参加された学生のみなさんは、先輩の経験談や熱いトークを聞きながら次



のオープンキャンパスでの自身の活躍を思い描いてくれたのではないでしょ  
うか。そして、この研修を受けられた  
学生のみなさんは、年12回開催している  
オープンキャンパスで大いに力を発  
揮してくれています。



## 学生マナーに係る出来事

ここ数年来の大手運営計画・施策&目標のひとつとして「マナー教育の充実」を掲げています。福祉・教育・医療・保健等の領域において専門知識を身につけ資格取得を目指す学生たちが集う場であるとともに、学生個人の人間形成の場とも捉えることができるからです。

平成26年4月早々、大学所在地の町内会より大学宛て申し入れ書が届きました。概要としては●歩行喫煙や吸殻の投げ捨て●自転車二人乗り・自転車並行走行

平成26年4月早々、大学所在地の町内会より大学宛て申し入れ書が届きました。概要としては●歩行喫煙や吸殻の投げ捨て●自転車二人乗り・自転車並行走行

●道路での駐車・駐輪  
け止め、平成26年5月開催の大学学部

- 歩きながらの飲食などで、通学途上でのマナーに係る内容が記載されました。申し入れ書の結びには、

「学校教育とは人間を育てる『場』、よ  
り就職先を見つけるためだけのものであ  
っては」「ここで学んだ人のなか  
ら将来日本を背負って起つ人材が輩出  
されることは相原に住む者にとって誇  
りとなります」と、本学の大学教育  
に期待を寄せる趣旨の言葉が添えられ  
ていました。

大学としても、この事態を真摯に受け止め、平成26年5月開催の大学学部事態の周知を図りました。

学生指導に直接的に携わる教員それが実状を知る機会となつたこと、教員の個別ゼミの中でマナー検討を議する契機となつたこと等、マナー向上・マナー教育の充実に向け新たな動き出しました。町内会からの厳しいお叱りであったとともに、地域に生きる大学として得ることの大きかった出来事です。

## 公欠について

今年度より、全学部とも単位認定の条件として、全授業回数の2／3以上の出席が必要という共通ルールが設けられました。(科目により厳しい条件有)これにより、これまで以上に授業への出席が重要となっていますが、忌引きや学校感染症のために授業を休んだ場合には、公欠の手続きをとることが可能です。公欠は欠席であり、出席回数が基準に満たない場合は公欠分の補講を受けることなどにより、出席回数を満たすことができます。公欠とし



公欠の手続きは、該当事項が終了した日から1週間以内に「公欠届」にその事実を証明する書類を添付し、教務部に提出してください。忌引きの場合には会葬礼状、感染症の場合は医師の診断書が必要です。公欠に関する詳しい記載は、学生便覧に記載(2014年度はP16)しておりますので、確認してください。

# 研究成果を発信！ 関西福祉科学大学 リポジトリの紹介

本学の教育・研究成果（論文など）を保存し、インターネットを通じて無償で公開しています。リポジトリのメリットは、研究者にとっては論文や研究成果のアピールができるうこと、利用者にとっては無料で簡単に学術論文を手に入れられることがあげられます。

本学のリポジトリ内容は、本学が発行する学術雑誌に掲載された論文が多くを占めています。また、最近では卒業論文の抄録（あらすじ）公開を始めました。後輩学生が研究テーマを選ぶ際の参考として役立っています。（一部の学科に限られます。学内公開のみ。）

大学ホームページや、下記 QR コードから利用できます。教員の研究成果をご覧ください。

## 感恩のこころ

第10号 平成26年11月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会  
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1  
TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377